

報道関係各位

2014年6月11日
株式会社カンター・ジャパン

「次も iPhone (アイフォーン) を買う」が 82%

～iPhone (アイフォーン) 所有者で、1年以内に買い替え予定の人が対象。
日本、アメリカ、中国 (都市部) での調査結果～

市場調査会社の株式会社カンター・ジャパン (本社: 東京都渋谷区、代表取締役社長: 大竹秀彦) は、携帯電話・スマートフォンおよびタブレット機器の購買・使用動向調査 (名称: 「カンター・ワールドパネル・コムテック (略: コムテック調査)」) を毎月実施しています。

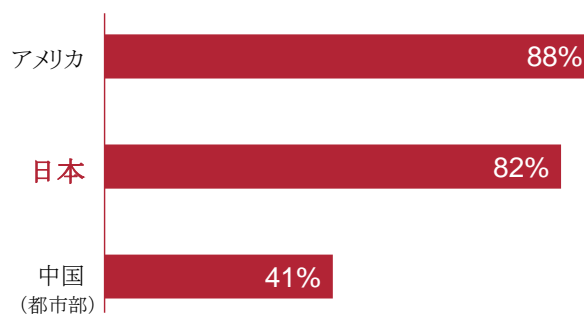
2014年1月から3月にかけて日本で実施した調査によると、今 iPhone (アイフォーン) 所有者でこれから1年以内に買い替えを予定している人のうち、次も iPhone (アイフォーン) を買おうと考えている人の割合は 82% でした。

■ 次も Apple (アップル) の機種と回答する人の割合が高い日本とアメリカ

この調査では、スマートフォンの所有者に対し、1年以内に買い替えを予定しているか、予定している場合次に購入する機種は何かを聞いています。このうち、Apple (アップル) と Samsung (サムスン) について、それぞれのスマートフォンの所有者が、次も同じブランド (機種) を購入したいと考えているかどうかについて調べました。

まず、1年以内に買い替えを予定していると回答した iPhone (アイフォーン) 所有者のうち、次も iPhone (アイフォーン) を買うと回答した人の割合は、日本で 82% でした。また、アメリカでは 88%、中国 (都市部) では 41% という結果になりました。

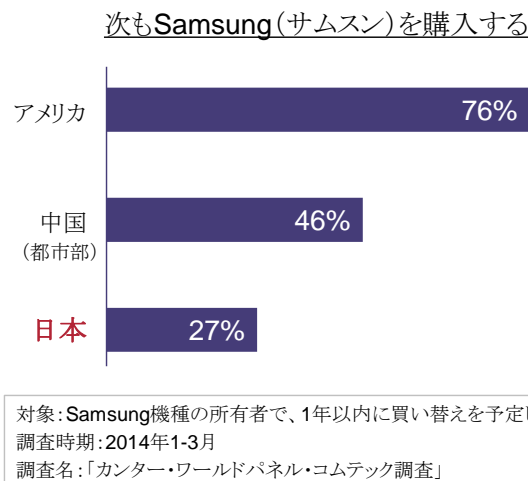
次も iPhone (アイフォーン) を購入する



対象: iPhone 所有者で、1年以内に買い替えを予定している人
調査時期: 2014年1-3月
調査名: 「カンター・ワールドパネル・コムテック調査」

News Release

一方、1年以内に買い替えを予定している Samsung (サムスン) のスマートフォン所有者のうち、次も Samsung (サムスン) の機種を買うと回答した人の割合は、日本で 27% でした。また、アメリカでは 76% と高く、中国 (都市部) では 46% でした。



■ 考察

こうして見ると、アメリカでは、Apple (アップル) と Samsung (サムスン) のスマートフォン所有者に関して、どちらも今と同じブランド (機種) を次も買いたいと考える傾向があると言えます。一方、中国 (都市部) では、同じブランド (機種) にあまりこだわらない消費者の姿をうかがうことができます。

■ 調査概要

カンター・ジャパンは、12カ国の携帯電話・スマートフォンおよびタブレット機器の購買・使用動向を把握し、その情報・分析レポートを企業に提供しています。調査を実施しているのは、同じカンター・グループに属するカンター・ワールドパネル社です。今回公表するのは、日本、アメリカ、中国 (都市部) の調査結果になります。

- 調査名称: 「カンター・ワールドパネル・コムテック調査」
- 調査時期: 2014年1月から3月
- 調査方法: 主にインターネット調査 (日本を含む)
- 調査対象: 16歳以上の男女
- 対象者数: 10,000人/月 (日本)、20,000人/月 (アメリカ)、15,000人/月 (中国)
- 調査国: 日本、アメリカ、中国 (都市部)

本文を引用される場合は、出典が「カンター・ジャパン」であることを明記してください。

News Release

■ カンター・ジャパン会社概要

カンター・ジャパンは、前身企業から数えると日本で 50 年超の歴史を持つ市場調査会社です。12 の企業 (グループ) で構成されるカンター・グループに属し、日本だけでなく海外の消費者調査まで幅広く手掛けています。親会社は、世界有数の広告会社であるイギリスの WPP (ダブリュー・ピー・ピー) です。

- 社名:株式会社カンター・ジャパン
- 本社:東京都渋谷区代々木 2-1-1 新宿マインズタワー6F、7F
- 代表取締役社長:大竹秀彦
- 事業内容:市場調査、およびそれに付随するアドバイザリー業務
- ウェブサイト:<http://www.kantar.jp>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社カンター・ジャパン 広報 東園 E-mail:Marketing@kantar.co.jp Tel:03-6859-3229